

## 公共事業における市民参画（PI）の実践スキル（基礎編） 第2回PI講習会

主催：（財）計量計画研究所

日時：2006年11月10日（金） 10：00～18：30

場所：弘済会館「萩」

IBSでは、財団の社会貢献事業の一環として、2005年に市民参画型計画プロセス（PI：パブリック・インボルブメント）に関する技術の普及を目的としたPI講習会を開催し、参加された皆様方より大変ご好評を頂きましたことから、昨年に引き続き第2回目のPI講習会を開催し、多数の行政担当者にご参加頂きました。

近年、道路等の基盤整備や環境政策の場において、市民の参画が一般化されてきましたが、対話の仕方、会議の運営、プロセスの組み方など参加の場面によって、様々な実践スキルが求められます。本研修は、米国連邦道路局PI講習会をベースに、日本初のPIトレーニングコースとして開発され、国土交通大学をはじめ、地方整備局や自治体等の職員研修として、また、事業へのPI導入の際の担当者スキルアップとして、これまでも多数実施されています。

本研修は、PIの基本的な考え方や実践的な技術や手法などについて、基礎的な内容を習得することを目的としています。

PIの技術は、特定の事業分野のPIだけでなく、行政内における意思決定や行政間調整など、様々な局面で応用でき、これからの時代において不可欠であるとの認識から、今後も本講習会の開催を継続する予定です。次回は2007年8月31日（金）東京で開催を予定しています。ご案内は詳細が決まり次第、ホームページに掲載する予定です。本研修を職員のスキルアップの場として今後ともご活用ください。

なお、本研修は土木学会継続教育（CPD）・都市計画CPDプログラムに認定されています。

### 公共事業における市民参画（PI）の実践スキル PI講習会の講習内容

1. PIとは  
PI（パブリック・インボルブメント）発展の歴史的背景や国や自治体での取り組み状況なども交え、参加型プロセスであるPIの基本的な考え方を学びます。
2. コミュニケーション理論  
PI型のコミュニケーションの基礎となる理論と共に、信頼を構築するための考え方やPIに取り組む姿勢について学びます。
3. 聴く技術・再構築とファシリテーション  
コミュニケーションの理論を実践に結びつける対話の技術を、1対1で他者の話を「聴く」ための基本的テクニックと会議や集会の場を司会進行するファシリテーションの両面から学びます。
4. 場のデザイン  
代表的なPIツール＝参加の場や道具立てにはどんなものがあるかを、運営上の配慮点や工夫と共に国内外の事例に基づいて学びます。
5. プロセス設計  
PIを前提とした計画プロセスの理論、設計手法、推進体制づくりなどを、従来型のプロセスとの比較や事例を通じて学びます。



写真 - 1 講習会での演習の様子

### 公共事業における市民参画（PI）の実践スキル 2007年第3回PI講習会のご案内

日 時：2007年8月31日（金）  
場 所：弘済会館  
参加費：12,000円程度  
定 員：50名程度（対象：行政職員）  
土木学会継続教育（CPD）・都市計画CPDプログラム申請予定  
詳細が決まり次第ホームページでお知らせします

（総務部総務課 谷貝 等）